

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り①

日程

令和6（2024）年9月6-7日（金-土）

行程

回数	種別	概要
9/6 (金)	□ 視察、意見交換	□ 株式会社米子木材市場 □ 山土場（西佐伯郡大山町） □ 株式会社ミヨシ産業 <プレカット工場>
	□ 第2回デジタル分科会	□ 鳥取地域 SCMシステムについて □ 静岡地域 進捗報告・視察しての意見 □ 北海道地域 進捗報告 □ 質疑応答・意見交換
9/7 (土)	□ 視察、意見交換	□ 株式会社 日新 <合板工場>
	□ 意見交換（座談会）	□ SCMシステム、サプライチェーンの可視化について □ 委員等からのコメント・振り返り □ リードタイム、在庫量に係る視点での意見交換

参加者

【委員等】伊呂原 隆（上智大学 理工学部 情報理工学科 教授）

鹿又 秀聡（座長、森林総合研究所 林業システム研究室）

高橋 伸幸（群馬県森林組合連合会 総務部長）

中澤 昌彦（森林総合研究所 収穫システム研究室 室長）

【デジ林3地域】北海道地域（分科会Web参加）、静岡地域（現地参加）、鳥取地域（現地参加）

【事務局】林野庁、日本森林技術協会

【オブザーバー】岡田 広行 氏（住友林業株式会社）、森林総合研究所 林業システム研究室

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り②

現地視察の目的

- ❑ 鳥取地域における 山土場 → 木材市場 → 合板工場 → プレカット工場 までの木材の流れを確認する。
- ❑ 各委員のご専門・ご経験を踏まえて、林業・木材産業へのアドバイスをいただく。
- ❑ 鳥取地域が構築しているシステムの原型となった（株）ミヨシ産業の社内システムを視察する。

山土場



(株) 米子木材市場



(株) 日新



(株) ミヨシ産業



1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り③ ～意見等～

指導・助言、意見等（抜粋）

項目	内容
分科会	□ （鳥取県）SCMシステムの開発状況とテスト運用における評価等について ■ 各段階での在庫量または取扱量、入荷量・出荷量の差分などが、グラフで見える化されるとよいのではないか。 ■ 将来的に伐区的位置情報や丸太1本ごとの情報なども取り組めるようにしてはどうか。 □ （北海道）ICTハーベスタを活用した生産管理の実証及び下刈り機械の活用実証について ■ 集材後に納品の規格に合わせるため、現場で規格変更（採材長さ、仕向け先等）を行うことがあり、ICTハーベスタで取得したデータがサプライチェーンの中で繋がらなくなることがあることが課題。 □ （静岡県）山土場位置情報や素材生産事業者へのフィードバック機能などの実証について ■ 土場で滞留する在庫が減る、配車の効率がよくなることから、生産性も上がるというつながりが定量的に示せるとよいのではないか。
意見交換 （座談会）	□ 自動車産業などと比べると、木材市場の出荷量の月次変動幅の大きさや、工場内の仕掛在庫が大きく、かつ、これらを改善する仕組みが無いように見え、改善の余地はあると思う。 □ 川中から川下のサプライチェーンは多様な事業者が担っており、効率化によるコスト削減を定量評価することが事業者間での損得感情を惹起する可能性。直接的なコスト試算ではなく、在庫とリードタイムを指標化することも一案ではないか。 □ 林業界で山側の在庫量についてはリードタイムが考慮されてこなかった。リードタイムが短ければ良いということではなく、最適なのかという観点が重要である。